①学会発表(国際)

No.	演題名	演者名	共同演者名	学会名	開催日時	開催地
	The development and installation of web based visual task management system for acute stroke care	Shouji Matsumoto		NCS 15th annual meeting	2017/10/10-10/13	Hawaii USA
2	The development and installation of web based visual task management system for acute stroke care	Shouji Matsumoto		NCS 15th annual meeting	2017/10/10-10/13	Hawaii USA
3	The development and implement of ICT visual task management system for acute stroke care	Shoji Matsumoto		17 <sup>th</sup> China-Japan-Korea Joint symposium on medical information	2016/11/21-11/22	Yokohama Japan

	発表(国内)				P	
No.	演題名	演者名	共同演者名	学会名	開催日時	開催地
1	当初は下位運動ニューロン型ALSと診断していたが、LRSAM1遺伝子変異を認め、CMT2Pと考えられた1例	白石 渉	橋口昭大、松吉彩乃、高嶋博、橋本哲也	第238回日本神経学会九州地 方会	2022/12/10	鹿児島
2	鉄欠乏性貧血に伴う特発性頭蓋内圧亢進症を呈した1例	前田 拓	松吉彩乃、田中大輔、白石渉、橋本哲也	第339回日本内科学会九州地 方会	2022/11/27	大分
3	鼻マスクによる陽圧換気を併用したデクスメデトミジン鎮静で安全に内視鏡的処置を施行できた神経筋疾患の2症例	白石 渉	白石涉、西川真史、野口達矢、幸本達矢、 松吉彩乃、白井保之、橋本哲也	第10回日本難病医療ネットワーク学会学術集会	2022/11/19	東京
4	強い精神症状が残存し、既知の自己抗体が陰性 だった辺縁系脳炎の1例	松吉彩乃	白石涉、濱小路友哉、太田浄文、橋本哲也	第237回日本神経学会九州地 方会	2022/9/17	佐賀
5	サルコイドーシスの治療を契機に進行性多巣性白質脳症を発症したHTLV-1キャリアの経験	西川真史	白石 涉、松吉彩乃、橋本哲也	第338回日本内科学会九州地方会	2022/8/27	鹿児島
6	サルコイドーシスの治療を契機に進行性多巣性白質脳症を発症したHTLV-1キャリアの経験	西川真史	白石渉	第338回日本内科学会九州地 方会	2022/8/27	web開催
7	サルコイドーシスの治療経過中にPMLを発症した HTLV-1陽性の1例	白石 渉	西川真史、松吉彩乃、長堀貴、山田優衣、 橋本哲也	第236回日本神経学会九州地 方会	2022/6/18	北九州
8	多系統萎縮症のbright MCP sign検出におけるDIRの 有用性の検討	白石 渉	松吉 彩乃、橋本哲也	第63回日本神経学会学術集会	2022/5/18~21	東京
9	脳生検を施行した、睾丸セミノーマに伴う paraneoplastic tumefactive demyelinationと考えられた1例	白石 渉	梅村武部、中山祐起、山田優衣、橋本哲也	第235回日本神経学会九州地 方会	2022/3/19	Web
10	剣創状強皮症と同側に6歳, 12歳時に若年性脳梗 塞を生じた1例	白石 渉	坂本宏樹、波多野武人、橋本哲也	第47回日本脳卒中学会学術集 会	2022/3/17~20	Web
11	神経症状で発症した高齢者ベーチェット病の1例	白石 渉	辻本吉孝	第47回日本老年医学会九州地 方会	2022/2/19	Web
12	ステロイドパルスとガンマグロブリン治療により改善 した腕神経叢炎の1例	白石 渉		第234回日本神経学会 九州地方会	2021/12/4	Web開催
13	頭痛, 複視, 好酸球増多, 肺病変を呈し, 好酸球性 多発血管炎性肉芽腫症の診断に至った濃厚性 <u>- 疎聴器の生途</u> 伽	白石 渉	辻本吉孝	第49回日本頭痛学会学術 集会	2021/11/19-11/21	Web開催
14	加熱式タバコと低用量エストロゲン・プロゲスチン製剤 の併用により脳梗塞を発症した若年女性	白石 渉		第15回日本禁煙学会 学術集会	2021/10/16	Web開催
15	高度貧血に対する急速輸血後に可逆性後頭葉白質 脳症を発症し、その後に著明な後頭葉萎縮を呈した 2症例	白石 渉	藤木亮輔,橋本哲也,中村憲道	第233回日本神経学会 九州地方会	2021/9/18	Web開催
16	核間性眼筋麻痺と小脳失調、オリゴクロナールバンド ド を認め、多発性硬化症と鑑別を悪したGal-C抗休陽	白石 渉	藤木亮輔,橋本哲也,中澤祐介	第32回日本末梢神経学会 学術集会	2021/9/10	Web開催
17	クラリスロマイシン誘発てんかんと考えられた症例	白石 渉	辻本吉孝	第334回日本内科学会 九州地方会	2021/8/28	Web開催
18	脳幹病変と核間性眼球運動障害、オリゴクローナル バンド陽性を認め、当初多発性硬化症と診断した 抗Gal-C抗体陽性例	白石 渉	藤木亮輔, 橋本哲也	第232回日本神経学会 九州地方会	2021/6/12	Web開催
19	頭痛, 複視, 好酸球増多, 肺病変を呈し, 好酸球性 多発血管炎性肉芽腫症の診断に至った肥厚性硬膜 ※	白石 渉	辻本吉孝, 村田建一郎	第231回日本神経学会 九州地方会	2021/3/20	Web開催
20	メトホルミン内服が脳卒中様症状発症に関与したと 考えられたミトコンドリア病の1例	白石 渉		第46回日本脳卒中学会 学術集会	2021/3/11	Web開催
21	激しいせん妄のために入院治療困難であった NMOSD(視神経脊髄炎関連疾患)の1例	植本優里	白石渉	第30回老年病学会 九州地方会	2021/2/20	Web開催
22	ー側性のbright middle cerebellar peduncle signを 呈した多系統萎縮症の1例	白石 渉	藤木亮輔, 古田興之介	第230回日本神経学会 九州地方会	2020/12/12	Web開催
23	ステロイド内服下に脳脊髄多発病変で再発した 視神経脊髄炎の1例	白石 渉	植本優里,藤木亮輔,古田興之介	第331回日本内科学会 九州地方会	2020/11/29	Web開催
24	左前頭部痛と焦点意識減損発作で来院し, 頭部単純 MRIは正常だった肥厚性硬膜炎の1症例	白石 渉	小倉健記	第48回日本頭痛学会総会	2020/11/7-11/8	つくば市 + Web開催
25	両側視床病変、PSD、髄液中14-3-3蛋白陽性を 認めた輸血後PRESの1例	白石 渉	山口高弘, 藤木亮輔, 古田興之介	第229回日本神経学会 九州地方会	2020/9/19	大分市 + Web開催
26	CCR2-positive macrophages infiltrated into the peripheral nerves protect motor neuron disease	白石 渉		第61回日本神経学会 学術大会	2020/8/31-9/2	岡山市 + Web開催
27	短期間に脳梗塞再発を繰り返した原発性リン脂質 抗体症候群(APS)及び血管内リンパ腫(IVL)の1例	山口高弘	藤木亮輔, 古田興之介	第61回日本神経学会 学術大会	2020/8/31-9/2	岡山市 + Web開催
28	急性期脳梗塞治療ICT支援システム(Task Calc. Stroke)の開発と試験運転	松本省二	小山裕司, 中原一郎, 波多野武人, 田中弘二, 永田泉, 吉良潤一	第60回日本神経学会学術 集会	2019/5/22-5/25	大阪市
29	総頚動脈拡張末期血流速度比の左右差が術後に 正常化した脳動静脈奇形の2例	田中弘二	松本省二,近藤大祐,山田猛, 古賀誉久,千原英夫,波多野武人, 宮城知也,山崎亮,吉良潤一	第37回日本脳神経超音波 学会総会	2018/6/8-6/9	神戸市

30	脳梗塞急性期治療治療支援システム"Task Calc. Stroke"の開発	松本省二		STROKE2018 第43回日本脳卒中学会 学術集会 第47回日本脳卒中の外科 学会学術集会 第34回スパズム・シンポジウム	2018/3/15-3/18	福岡市
31	脳卒中患者の危険因子管理	松本省二		STROKE2018 第43回日本脳卒中学会 学術集会 第47回日本脳卒中の外科 学会学術集会 第34回スパズム・シンポジウム	2018/3/15-3/18	福岡市
32	顕部血管エコーによる椎骨動脈起始部70%以上狭窄 の推定	近藤大祐		STROKE2018 第43回日本脳卒中学会 学術集会 第47回日本脳卒中の外科 学会学術集会 第34回スパズム・シンポジウム	2018/3/15-3/18	福岡市
33	急性期脳卒中診療における救急室での迅速血液 凝固分析検査の実際	辻本篤志		STROKE2018 第43回日本脳卒中学会 学術集会 第47回日本脳卒中の外科 学会学術集会 第34回スパズム・シンポジウム	2018/3/15-3/18	福岡市
34	脳神経外科教急における情報通信技術(ICT)の利用情報通信技術(ICT)の利用による急性期脳卒中急性診療支援システムの開発	松本省二	小山裕司,青木満,大橋博明,徐向陽,波多野武人,永田泉, 吉良潤一	第23回日本脳神経外科 救急学会	2018/2/2-2/3	奈良市
35	急性期脳卒中症例における頸部血管エコーによる 大動脈解離のスクリーニング	近藤大祐		第33回NPO法人日本脳神経 血管内治療学会学術総会	2017/11/23-11/25	東京都
36	脳卒中急性期治療支援web システム(Task Calc. Stroke)の開発と試験導入	松本省二		第33回NPO法人日本脳神経 血管内治療学会学術総会	2017/11/23-11/25	東京都
37	心原性脳塞栓症に対する急性再開通療法の特徴と予後に与える影響の検討	橋本哲也		第33回NPO法人日本脳神経 血管内治療学会学術総会	2017/11/23-11/25	東京都
38	急性期脳卒中症例での頸動脈血管エコーによる 大動脈解離のスクリーニング	松本省二		第36回日本脳神経超音波 学会総会	2017/6/23-6/24	高松市
39	両側基底核及び深部白質に散在する病変を 伴ったLeber遺伝性視神経症の一例	清水栄里	松本省二,岩中行己男,橋本智代, 岡田和将,高橋利幸,掛田伸吾, 足立弘明	第218回 日本神経学会 九州地方会	2017/6/17	宮崎市
40	脳卒中診療における神経超音波検査	橋本哲也		The 34th Live Demonstration in KOKURA	2017/5/12-5/13	小倉北区
41	急性内頚動脈閉塞症に対する再開通療法の予後に 影響する因子の検討	橋本哲也		STROKE2017 第42回日本脳卒中学会総会 第46回日本脳卒中の外科 学会学術集会 第33回スパズム・シンポジウム	2017/3/16-3/19	大阪市
42	コメディカルスタッフのための脳卒中基礎講座	松本省二		STROKE2017 第42回日本脳卒中学会総会 第46回日本脳卒中の外科 学会学術集会 第33回スパズム・シンポジウム	2017/3/16-3/19	大阪市
43	頸動脈ステント留置術後の過灌流症候群と 経頭蓋局所脳酸素飽和度との関連性についての 検討	松本省二		第34回北九州市医師会 勤務医医学集団回	2017/2/21	小倉北区
44	急性期脳梗塞診療支援可視化システム Task Calc. Stroke (タスカル) の開発	松本省二		第22回日本脳神経外科 救急学会	2017/2/3-2/4	高松市
45	再開通療法後に過灌流症候群を呈した急性内頚動脈 閉塞症の一例	橋本哲也	辻本篤志, 松本省二	第216回日本神経学会 九州地方会	2016/12/17	久留米市
46	Carotid Wallstent 使用時にステントホルダーが逸脱し、 回収に苦慮した1例	河野朋宏		第32回NPO法人日本脳神経 血管内治療学会学術総会	2016/11/24-11/26	神戸市
47	後方循環の急性脳主幹動脈閉塞症に対する 再開通療法の転帰	橋本哲也	松本省二,波多野武人,定政信猛	第32回NPO法人日本脳神経 血管内治療学会学術総会	2016/11/24-11/26	神戸市
48	脳梗塞急性期治療支援web システム Task Calc. Stroke の開発	松本省二		第32回NPO法人日本脳神経 血管内治療学会学術総会	2016/11/24-11/26	神戸市
49	脳梗塞急性期診療支援システムTask Calc. Stroke (タスカル)による最適な治療の実現	松本省二		日本脳神経外科学会 第75回学術総会	2016/9/29-10/1	福岡市
50	急性中大脳動脈水平部閉塞に対する血栓回収療法の再開通と画像所見及び血栓性状の関連	橋本哲也	早川幹人, 船津奈保子, 宮崎雄一, 山上宏, 佐藤徹, 高橋淳, 長束一行, 植田初江, 豊田一則	第57回日本神経学会学術大会	2016/5/18-5/21	神戸市
51	Protocol changes aiming to reduce door-to- needle time in intravenous t-PA therapy and its problems	松本省二		第57回日本神経学会 学術大会	2016/5/18-5/21	神戸市
52	血管内治療による脳卒中の治療	松本省二		第57回日本神経学会 学術大会	2016/5/18-5/21	神戸市
53	ITを活用した脳梗塞急性期治療の効率改善及び 評価の取り組み	松本省二		STROKE2016 第41回日本脳卒中学会総会 第45回日本脳卒中の外科 学会学術集会 第32回スパズム・シンポジウム	2016/4/14-4/16	札幌市
54	HLA タイピングより神経Sweet 病が疑われた 髄膜脳炎の一例	橋本哲也	雜賀徹, 松本省二	第213回日本神経学会 九州地方会 第122回日本脳神経外科 学会九州支部会	2016/3/12	福岡市
55	アンケートを用いた、パーキンソン病患者に対する ロチゴチンの有用性についての検討	白石 渉		第56回日本神経学会 学術大会	2015/5/20-5/23	新潟市
56	開眼時のみのwrong-way eye deviation を呈した アテローム血栓性脳梗塞の1 例	白石 渉	山本明史	STROKE2015 第40回日本脳卒中学会総会 第44回日本脳卒中の外科 学会学術集会	2015/3/26-3/29	広島市
				第31回スパズム・シンポジウム		

58	セレキ・リンとロチコ・チン投与下に正常分娩に至った 若年性パーキンソン病の1例	白石 渉		第208回日本神経学会 九州地方会	2014/12/20	沖縄
	当初、脊髄小脳変性症と考えられたが、 大量ガンマグロブリン治療に反応した 橋本脳症の1例	白石 渉	古田興之介,椎 裕章	第306回日本内科学会 九州地方会	2014/8/23	鹿児島市
60	Wake-up strokeの臨床特徴と早期虚血性変化に 関する検討: 多施設共同データベースQISS	鳥居孝子	古田興之介, 松本省二, 山田猛, 高瀬敬一郎, 長野祐久, 由村健夫, 田中弘二, 村井弘之, 吉良潤一	STROKE2014 第39回日本脳卒中学会総会 第43回日本脳卒中の外科 学会学術集会 第30回スパズム・シンポ ジウム	2014/3/13-3/15	大阪市
61	産褥子癇に伴うposterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) の1例	藤井敬之	柴田郁子, 古田興之介, 田中公裕, 椎裕章	第203回日本神経学会 九州地方会	2013/9/7	鹿児島市
62	皮膚所見を伴わないpossible neuro-Sweet diseaseの1例	藤井敬之	古田興之助,田中公裕,椎裕章	第200回日本神経学会 九州地方会	2012/12/22	熊本市
63	長大な脊髄病変を呈した小腸悪性リンパ腫の 脊髄髄内転移の1例	藤井敬之	古田興之助,田中公裕,椎裕章	第199回日本神経学会 九州地方会	2012/9/8	北九州市

No.	集(英語論文) 論題名	著者	共同著者	雑誌名	巻・号・ページ	発行年月
1	Identifying Hyperreflective Foci in Diabetic Retinopathy via VEGF-Induced Local Self-Renewal of CX3CR1+ Vitreous Resident Macrophages	Muneo Yamaguchi	Shintaro Nakao, Iori Wada, Ietsuya Matoba, Mitsuru Arima, Yoshihiro Kaizu, Mariko Shirane, Keijiro Ishikawa, Takahito Nakama, Yusuke Murakami, Masaharu Mizuochi, Wataru Shiraishi, Ruo Yamasaki	Diabetes	Vol. 71, Issue12, p 2685- 2701	2022/12
2	Ultrashort Echo Time Magnetic Resonance Angiography as an Alternative Tool to Digital Subtraction Angiography in the Follow-up of	Takeru Umemura	Takeru Umemura, Taketo Hatano, Takenori Ogura, Takeshi Miyata, Yuji Agawa Hiroaki	Neurosurgery	Online ahead	2022/12
3	A novel quantitative indicator for disease progression rate in amyotrophic lateral sclerosis	Yuko Kobayakawa	Koji Todaka, Yu Hashimoto, Senri Ko, Wataru Shiraishi, Junji Kishimoto, Jun- Ichi Kira, Ryo Yamasaki, Noriko Isobe	Journal of Neurological Sciences	2022 Nov 15;442:120389.	2022/11
4	Heterogeneity between proximal and distal aspects of occlusive thrombi on pretreatment imaging in acute ischemic stroke.	Hashimoto T	Kunieda T, Honda T, Scalzo F, Sharma LK, Hinman JD, Rao NM, Nour M, Bahr- Hosseini M, Saver JL, Raychev R, Liebeskind DS	The Neuroradiology Journal	Vol.35 No.3 p378-387	2022/06
5	ADC Level is Related to DWI Reversal in Patients Undergoing Mechanical Thrombectomy: A Retrospective Cohort Study	Takeru Umemura	T Umemura, T Hatano, T Ogura, T Miyata, Y Agawa, H Nakajima, R Tomoyose, H Sakamoto, Y Tsujimoto, Y Nakazawa, T Wakabayashi, T Hashimoto, R Fujiki, W Shiraishi, I Nagata	AJNR	Vol 43 Issue 6 p 893-898	2022/06
6	Reduced leukoaraiosis, noncardiac embolic stroke etiology, and shorter thrombus length indicate good leptomeningeal collateral flow in embolic largevessel occlusion.	Hashimoto T	Kunieda T, Honda T, Scalzo F, Ali L, Hinman JD, Rao NM, Nour M, Bahr- Hosseini M, Saver JL, Raychev R, Liebeskind D	American Journal of Neuroradiology	Vol.43 No.1 p63-69	2022/01
7	Clearance of peripheral nerve misfolded mutant protein by infiltrated macrophages correlates with motor neuron disease progression	Wataru Shiraishi	Ryo Yamasaki, Yu Hashimoto, Senri Ko, Yuko Kobayakawa, Noriko Isobe, Takuya Matsushita, Junichi Kira	Scientific Reports	Vol.11 No.1 Page16428	2021/8
8	Hypothermia-induced triphasic waves	Wataru Shiraishi	Takaaki Ogoshi	Neurology and Clinical Neuroscience	Vol.9 No.4 Page336-338	2021/7
9	Blood transfusion-induced posterior reversible encephalopathy syndrome with periodic sharp wave complexes, 14–3–3 protein elevation, and the pulvinar sign	Wataru Shiraishi	Konosuke Furuta, Ryosuke Fujiki, Takahiro Yamaguchi	Neurology and Clinical Neuroscience	Vol.9 No.1 Page134-136	2021/1
10	Differences between predictive factors for early neurological deterioration due to hemorrhagic and ischemic insults following intravenous recombinant tissue plasminogen activator	Koji Tanaka	Konosuke Furuta, Shoji Matsumoto, Taketo Hatano, Takeshi Yamada, Sukehisa Nagano, Keiichiro Takase, Ryo Yamasaki, Junichi Kira	Journal of Thrombosis and Thrombolysis	Vol.49 No.4 Page545-550	2020/5
11	Isolation and culture of oculomotor, trochlear, and spinal motor neurons from prenatal IsI mn : GFP transgenic mice	Ryosuke Fujiki	Joun Y Lee, Julie A. Jurgens, Mary C Whitman, Elizabeth C Engle	Journal of Visualized Experiments	Vol.153 Page e60440	2019/11
12	Modified diffusion-weighted imaging-alberta stroke program early computed tomography score including deep white matter lesions predicts symptomatic intracerebral hemorrhage following intravenous thrombolysis	Koji Tanaka	Konosuke Furuta, Shoji Matsumoto, Taketo Hatano, Takeshi Yamada, Sukehisa Nagano, Ryo Yamasaki, Kei-ichiro Takase, Jun-ichi Kira	Journal of Thrombosis and Thrombolysis	doi:10.1007/s11239- 019-01979-7	2019/11
13	Stem cell-derived cranial and spinal motor neurons reveal proteostatic differences between ALS resistant and sensitive motor neurons	Disi An	Ryosuke Fujiki, Dylan E Iannitelli, John W Smerdon, Shuvadeep Maity, Matthew F Rose, Alon Gelber, Elizabeth K Wanaselja, Joun Y Lee, Illona Yagudayeva, Christine Vogel, Hynek Wichterle, Elizabeth C Engle, Esteban Orlando Mazzoni	elife	Vol.8 Page e44423	2019/6
14	Cerebral hyperperfusion syndrome after endovascular reperfusion therapy in a patient with acute internal carotid artery and middle cerebral artery occlusions	Tetsuya Hashimoto	Shoji Matsumoto, Mitsushige Ando, Hideo Chihara, Atsushi Tsujimoto, Taketo Hatano	World Neurosurgery	doi: 10.1016/ j.wneu.2017.11.023	2017/11
15	Measurement conditions of end-diastolic ratio of common carotid arteries alter diagnostic ability for large artery intracranial occlusive disease	Koji Tanaka	Shoji Matsumoto, Hiroyuki Murai, Ryo Yamasaki, Junichi Kira	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases	doi: 1.1016/ j.jstrokecerebrovasdis. 2017.05.038	2017/6
16	A case of superior sagittal sinus intracranial dural arteriovenous fistula mimicking corticobasal syndrome	Keiichiro Takase	Shoji Matsumoto, Hidehisa Nishi, Ichiro Nakahara	Journal of the Neurological Sciences	Vol.376 Page91-92	2017/5
17	Cinical characteristics of atrial fibrillation— related cardioembolic strike in patients aged 80 years or older	Koji Tanaka	Shoji Matsumoto, Takeshi Yamada, Takako Torii, Takeo Yoshimura, Keiichiro Takase, Yoshifumi Wakata, Naoki Nakashima, Junichi Kira, Hiroyuki Murai	Geriatrics Gerontology International	Vol.17 No.5 Page708- 713	2017/5

18	Histopathologic analysis of retrieved thrombi associated with successful reperfusion after acute stroke thrombectomy	Tetsuya Hashimoto	Mikito Hayakawa, Naoko Funatsu, Hiroshi Yamagami, Tetsu Satow, Jun C. Takahashi, Kazuyuki Nagatsuka, Hatsue Ishibashi-Ueda, Jun-ichi Kira, Kazunori Toyoda	Stroke	Vol.47 No.12 Page 3035- 3037	2016/12
19	Cerebral blood flow and metabolism associated with cerebral microbleeds in small vessel disease	Tetsuya Hashimoto	Chiaki Yokota, Kazuhiro Koshino, Ryo Shimomura, Tenyu Hino, Tetsuaki Moriguchi, Yuki Hori, Toshiyuki Uehara, Kazuo Minematsu, Hidehiro Iida, Kazunori Toyoda	Annals of Nuclear Medicine	Vol.30 No.7 Page494-500	2016/8
20		Koji Tanaka	Shoji Matsumoto, Takeshi Yamada, Takao Torii, Takeo Yoshimura, Kejichiro Takase	Geriatrics Gerontology International	doi:10.1111/ggi.12773	2016/6
	ared RD years or older Pre-admission CHADS2,CHA2DS2-VASc, and R2CHADS2 scores on severity and functional outcome in acute ischemic stroke	Koji Tanaka	Konosuke Furuta, Shoji Matsumoto, Takeshi Yamada, Takao Torii,	Journal of Stroke and Cerebrovascular	Vol.24 No.7 Page1629- 1635	2015/7

## ⑤業績集(日本語論文)

No.	論題名	著者	共同著者	雑誌名	巻・号・ページ	発行年月
	虚血性脳血管障害の治療前画像を用いた 閉塞血栓の組成解析	橋本哲也		福田記念医療技術 振興財団情報	34号Page57-69	2021/12
2	ステロイドパルスとガンマグロブリン治療により 改善した腕神経叢炎	白神幹浩	白石渉, 中澤祐介	脳神経内科	95巻4号Page532-534	2021/10
3	特殊な脳血管疾患に伴う頭痛	白石 渉	白石悟	Bio Clinica	36巻10号Page76-81	2021/9
	メトホルミンはミトコンドリア病患者の脳卒中様 発作を誘発する	白石 渉		脳卒中	43巻5号Page452−456	2021/9
ו ה	配偶者からの受動喫煙が発症に関与したと 考えられた脳静脈血栓症の一例	白石 渉	阿河祐二	日本禁煙学会雑誌	16巻2号Page38-41	2021/5
6	脳梗塞急性期治療を早期開発するための プロトコルおよび支援システムの研究・開発		石井暁, 小山裕司, 定政信猛, 甲斐康稔, 石橋良太, 坂真人, 岡田卓也, 園田和隆, 西秀久, 宮田悠, 瀧田亘, 高下純平, 永田泉, 中原一郎, 吉良潤一	The Mt.Fuji Workshop on CVD	34巻Page148-152, 167	2016/8
	急性中毒症状が明らかでなく初期診断が 困難であった間欠型一酸化炭素中毒の 1例 急性発症性認知症の鑑別診断	山崎貴男	椎裕章, 吉良潤一	認知神経科学	14巻3号Page193-198	2013/3

## ④業績集(英語症例報告)

No.	論題名	著者	共同著者	雑誌名	巻・号・ページ	発行年月
1	Gadolinium-enhanced MR improved motion sensitized driven equilibrium (iMSDE) for intracranial	Ryuta Tomoyose	Ryuta Tomoyose, Takeshi Miyata, <u>Wataru</u> <u>Shiraishi</u> , Takenori Ogura, Noriyuki Koga,	J Stroke Cerebrovasc Dis	Vol 31, Issue 10, Page 106697.	2022/12
2	Possible convulsion and electroencephalographic abnormality in a patient taking long—term oral clarithromycin: A case report	Shiraishi Wataru		World Journal of Neurology	Volume 8, Issue 2, page 10-13	2022/11
3	Case Report: Paraneoplastic Tumefactive Demyelination Associated With Seminoma	Shiraishi Wataru	Takeru Umemura, Yuuki Nakayama, Yui Yamada, Masahiro Shijo and Tetsuya Hashimoto	Frontiers in Neurology	Volume 13 - 2022	2022/07
	Blood transfusion-induced posterior reversible encephalopathy syndrome presenting severe brain atrophy: A report of two cases	Shiraishi Wataru		Clinical Case Reports	Volume10, Issue1	2022/01
5	Pathological findings of hypertrophic pachymeningitis associated with eosinophilic granulomatosis with polyangiitis	Wataru Shiraishi	Yoshitaka Tsujimoto, Tomoko Shiraishi	BMJ Case Reports	Vol.14 No.9 Page e243395	2021/9
6	A unilaternal bright middle cerebellar peduncle sign	Wataru Shiraishi		Internal Medicine	Vol.60 No.15 Page 2059 - 2510	2021/8
	Immunotherapy – responsive brainstem lesion accompanied with anti – galactocerebroside antibody	Wataru Shiraishi		Clinical and Experimental Neuroimmunology	doi:org/10.1111/ cen3.12660	2021/7
8	Hypothermia-induced triphasic waves	Wataru Shiraishi	Takaaki Ogoshi	Neurology and Clinical Neuroscience	doi: org/10.1111/ ncn3.12509	2021/5
9	Blood transfusion-induced posterior reversible encephalopathy syndrome with periodic sharp wave complexes,14-3-3 protein elevation, and the pulvinar sign	Wataru Shiraishi	Takahiro Yamaguchi, Ryosuke Fujiki, Konosuke Furuta	Neurology and Clinical Neuroscience	Vol.19 No.1 Page134- 136	2021/1
10	Recurrent cerebral venous thrombosis treated with direct oral anticoagulants in a Japanese	Kazuyuki Saito	Konosuke Furuta, Kazuyuki Ishii, Masaki Kobayashi, Yoshiaki Wada,	Journal of Stroke and Cerebrovascular	Vol.30 No.1 Page105320	2021/1
11	Ban with hereditary protein C deficiency. Elevated end-diastolic ratio of the common carotis artery due to cerebral arteriovenous	Koji Tanaka	Eriko Mozishita Shoji Matsumoto, Takeshi Yamada, Daisuke Kondo, Hideo Chihara, Motohisa Kona, Takato, Hatano	Radiology Case Reports	Vol.13 No.4 Page917-920	2018/7

## ⑥業績集(日本語症例報告)

No.	論題名	著者	共同著者	雑誌名	巻・号・ページ	発行年月
1	経口摂取不良による極度の低栄養により発症した血 小板減少症の1例	白石 渉		JSPEN	4巻1号 p.30-34	2022年
2	脳梗塞の後に皮膚症状が出現し、剣創状強皮症と 診断した小児脳梗塞の1例	白石 渉	内山 大治、阪本 宏樹、松吉彩乃、波多野武人、橋本 哲也	脳卒中	早期公開 2022年10月17日	2022年
3	上腕二頭筋生検で診断に至らず、外眼筋組織で遺 伝子診断に至った慢性進行性外眼筋麻痺の 1 例	白石 渉	立石 貴久、橋本 侑、山﨑 亮、吉良 潤 一、磯部 紀子	臨床神経学	62巻 p.946-951	2022年
4	フィンゴリモドの長期内服中に tumefactive demyelinating lesion を生じ、開頭減圧術を要した多 発性硬化症の 1 例	白石 渉	宮田 武、松吉 彩乃、山田 優衣、波多野武人、橋本 哲也	臨床神経学	63巻 p.37-44	2022年
5	全身の弛緩性麻痺とあらゆる反射の減弱・ 消失を認めた症例	白石 渉	中島研	脳神経内科	95巻6号Page816	2021/12
6	ステロイドパルスとガンマグロブリン治療により 改善した腕神経叢炎	白神幹浩	中澤祐介, 白石渉	脳神経内科	95巻4号Page532-534	2021/10
7	メトホルミンはミトコンドリア病患者の脳卒中様 発作を誘発する	白石 渉		脳卒中	43巻5号Page452-456	2021/9
8	ステロイド内服下に多発脳脊髄病変で再発し、 重篤な神経障害を残したNeuromyelitis optica spectrum disordersの1例	植本優里	白石涉,藤木亮輔,古田興之介	産業医科大学雑誌	43巻2号Page255-261	2021/6
ų i	幻視を伴う激しいせん妄を呈したneuromyelitis optica spectrum disorderの1症例	白石 渉		日本プライマリ・ケア 連合学会誌	44巻2号Page85-88	2021/6
10	配偶者からの受動喫煙が発症に関与したと 考えられた脳静脈血栓症の一例	白石 渉	阿河祐二	日本禁煙学会雑誌	16巻2号Page38-41	2021/5
11	頭痛とてんかん発作で発症し、その後に関節 症状が出現したリウマチ性髄膜炎の1例	白石 渉	小倉健紀	日本頭痛学会誌	47巻3号Page396-401	2021/4
12	悪性腫瘍との鑑別が問題となり、治験経過 より脳幹結核腫と考えられた1例	白石 渉	立石貴久, 園田和隆, 山崎亮, 吉良潤一	臨床神経学	61巻4号 Page253-257	2021/4
	再開通療法後に過灌流症候群を呈した急性 内頸動脈閉塞症の一例	橋本哲也	辻本篤志, 松本省二	臨床神経学	57巻6号Page315	2017/6
14	セレギリンとロチゴチン投与下に分娩に至った パーキンソン病の1例	白石 渉	村上緑, 古田興之介, 吉野浩代, 椎裕章	臨床神経学	55巻5号Page379	2015/5
15	傾眠を前景とし、当初は睡眠時無呼吸症候群 を疑われたが、急速に意識障害が進行した lymphomatosis cerebriの1例	白石 渉	古田興之介, 片山映樹, 大中貴史, 西秀久, 石橋良太, 椎裕章	臨床神経学	55巻5号Page379	2015/5
16	産褥子癇に伴うposterior reversible encephalopathy syndrome (PRES)の1例	藤井敬之	柴田郁子, 古田興之介, 田中公裕, 椎裕章	臨床神経学	54巻2号Page182	2014/2
17	長大な脊髄病変を呈した小腸悪性リンパ腫の 脊髄髄内転移の1例	藤井敬之	古田興之介, 田中公裕, 椎裕章, 佐々木裕哉, 田中悠二郎	臨床神経学	53巻8号Page679	2013/8
18	皮膚所見を伴わないpossible neuro-Sweet diseaseの1例	藤井敬之	古田興之介, 田中公裕, 椎裕章	臨床神経学	53巻5号Page397	2013/5

No.	R会   演題名	演者名	共同演者名	講演会名	開催日時	開催地
1	神経・筋疾患の難病の診断と治療について	白石 渉	細田悦子	難病のある人の就労支援者向け	2022/12/14	北九州
2	当院におけるパーキンソン病診療とラサギリンの使 用経験	白石 渉		Rasagiline Special WEB seminar	2022/12/5	北九州
3	パーキンソン病診療とサフィナミドの勘所	白石 渉		エーザイ株式会社MR研修会	2022/9/28	北九州
4	強い精神症状が残存し、既知の自己抗体が陰性 だった辺縁系脳炎の1例	松吉彩乃	白石涉、濱小路友哉、太田浄文、橋本哲也	北九州カンファランス	2022/9/1	北九州
5	当院におけるパーキンソン病診療とサフィナミドの使 用経験	白石 渉	坪井義夫、由比友顕	サフィナミド Premium Digital Semi	2022/8/29	北九州
6	座長	白石 渉	木村俊介、有廣昇司、池田耕一	第9回小倉南脳卒中病診連携の:	2022/8/4	北九州
7	エクフィナにて貢献できる患者像とは	白石 渉	魚住武則、政所広行	NOK会	2022/6/24	北九州
8	頭痛診療の実際と最近の知見	白石 渉		第一三共社内研修会	2022/3/16	北九州
9	地域の中核病院における難病患者への意思決定支 援	白石 渉	磯部紀子、松瀬大、岩野歩	第2回福岡県難病診療連携拠点	2022/3/2	福岡
10	当院脳卒中バスにおけるレンボレキサントの位置づけと使用経験	白石 渉	小鳥居望、内村直尚、宇野暢晃	レンボレキサントPremium Digital \$	2022/2/2	北九州
11	Opening remarks	白石 渉	魚住武則, 橋本智代, 政所広行	エクフィナ発売1周年記念 講演会in北九州	2020/12/4	Web配信
12	イストラデフィリン、ロピニロール塩酸塩貼付剤 で広げるパーキンソン病治療	白石 渉		洞薬会11月度学術講演会	2020/11/27	Web配信
13	COMT阻害薬を選択すべき患者像とその理由 既存のCOMT阻害剤のメリット/デメリット オンジェンティスの特性を踏まえた今後の期待	白石 渉	由比友顕,政所広行,魚住武則	パーキンソン治療の今後を 語る会	2020/10/20	Web配信
14	Morvan症候群	山口高弘	藤木亮輔,古田興之介	北九州神経カンファレンス	2020/2/6	小倉北区
15	小倉エリアを中心とした脳神経内科の診療連携	古田興之介		小倉内科医会実地医家 シリーズ講演会	2019/10/31	小倉北区
16	tPAスクランブル時の対応(シミュレーション)	松本省二		第8回tPAスクランブル	2017/11/27	小倉北区

	頸動脈ステント留置術後の過灌流症候群と 経頭蓋局所脳酸素飽和度との関連性に ついての検討	松本省二		回北九州市医師会 医医学集談会	2017/2/21	小倉北区
18	認知症治療UP DATE	田中公裕	第37回	回北九州骨·関節セミナー	2013/11/12	小倉北区

⑧業績集(解説)

No.	論題名	著者	共同著者	雑誌名	巻・号・ページ	発行年月
1	TIA発作が止まらない頚動脈狭窄患者	橋本 哲也		SCUグリーンノート	Page284-291	2016/10
2	脳卒中慢性期	橋本 哲也	豊田 一則	これだけは知っておきたい 日常診療で遭遇する 心血管合併症を有する 高血圧の管理		2016/5

⑨業績集(英語解説)

No.	論題名	著者	共同著者	雑誌名	巻・号・ページ	発行年月
1	A unilateral bright middle cerebellar peduncle sign	Wataru Shiraishi		Internal Medicine	Vol.60 No.15 Page2509- 2510	2021/8
2	Interpretation of Creutzfeldt-Jakob disease specific test results : Real prion disease or mimic ?	Wataru Shiraishi		Journal of Clinical and Experimental Neuroimmunology	Vol.6 Page4	2021/6